

**製品名: TGFβ 受容体 II (17K1) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe18849**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ICC/IF 1:500-1:1000,FC 1:20-1:50
分子量	65kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TGFBR2
別名	TGF-beta receptor type-2; TGFR-2; TGFR2; TGF-beta type II receptor; TbetaR-II; TGFBR2;
遺伝子 ID	7048.0
SwissProt ID	P37173
免疫原	ヒト TGFβ 受容体 II の組換えタンパク質

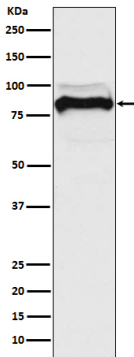
**背景**

TGF $\beta$  は、細胞質セリン・スレオニンキナーゼドメインを持つ II 型受容体 (TGF $\beta$  RII) 膜貫通タンパク質に高親和性結合することでその活性を媒介します。増殖抑制および早期遺伝子応答のシグナル伝達において、II 型受容体はキナーゼ活性と、I 型受容体と呼ばれる TGF $\beta$  結合タンパク質との結合の両方を必要とします。最近、2つの独立したグループが、それぞれ ALK-5 (T $\beta$ R-1) および TSR-1 と呼ばれる TGF $\beta$ I 型受容体タンパク質をコードする遺伝子のクローニングと配列解析を発表しました。膜貫通型セリン・スレオニンキナーゼは、TGF- $\beta$  サイトカイン TGF $\beta$ 1、TGF $\beta$ 2、および TGF $\beta$ 3 の非プロミスカス受容体である TGF- $\beta$ I 型セリン・スレオニンキナーゼ受容体 TGFBR1 と共存します。TGF $\beta$ 1、TGF $\beta$ 2、TGF $\beta$ 3 シグナルを細胞表面から細胞質へ伝達し、上皮細胞および造血細胞における細胞周期停止、間葉系細胞の増殖および分化の制御、創傷治癒、細胞外マトリックス産生、免疫抑制、発癌など、多様な生理学的および病理学的プロセスを制御します。サイトカイン二量体に対称的に結合した 2つの TGFBR1 分子と 2つの TGFBR2 分子からなる受容体複合体の形成は、恒常的に活性化された TGFBR2 による TGFBR1 のリン酸化および活性化をもたらします。活性化された TGFBR1 は SMAD2 をリン酸化します。SMAD2 は受容体から解離し、SMAD4 と相互作用します。SMAD2-SMAD4 複合体はその後核に移行し、そこで TGF- $\beta$  制御遺伝子の転写を調節します。これは、標準的な SMAD 依存性 TGF- $\beta$  シグナル伝達カスケードを構成します。また、非標準的な SMAD 非依存性 TGF- $\beta$  シグナル伝達経路にも関与します。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



A549 細胞溶解物中の TGF ベータ受容体 II 発現のウェスタン ブロット分析。